

平成 29 年 5 月 10 日

会員各位

(一社)兵庫県理学療法士会
選挙管理委員会
委員長 永嶋 道浩

役員改選に関する公報

謹啓 惜春の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、(一社)兵庫県理学療法士会 役員改選に関しまして、以下の方が立候補いたしましたので、告示いたします。

理事、監事ともに候補者は定数内ですので、無投票当選となります。

なお、新役員は、平成29年6月25日(日)の(一社)兵庫県理学療法士会総会において承認されますので、よろしくお願い申し上げます。

謹言

記

1. 立候補者

理事候補 : 12名(定数 12) 山本 克己 (一般社団法人兵庫県理学療法士会)
間瀬 教史 (甲南女子大学)
堤 万佐子 (宝塚リハビリテーション病院)
沖山 努 (神戸リハビリテーション病院)
岩井 信彦 (神戸学院大学)
中川 ふみよ (明和病院)
檀辻 雅広 (協和マリナホスピタル)
岡 英世 (順心リハビリテーション病院)
久保田 健二 (公立神崎総合病院)
小山 長 (新須磨病院)
西川 仁史 (甲南女子大学)
山口 良太 (株式会社アールイーコンセプト)

監事候補 : 2名(定数 2) 鮫島 一雄 (神戸総合医療専門学校)
今在家 信司 (神戸医療福祉専門学校三田校)
敬称略、受付順

2. 立候補者の主旨・主張・公約などは別途掲載資料をご覧ください。

- 1) 役員候補の記載順は、理事候補・監事候補の順であり、各候補者は立候補届け受付順に記載しています。
- 2) 各候補者の記載内容は、氏名、年齢、勤務先名、経歴、立候補の趣旨の順序です。
- 3) 会長、副会長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選出されます。



氏名 山本 克己

年齢 60

勤務先名 一般社団法人 兵庫県理学療法士会

経歴

(一社)兵庫県理学療法士会 副会長・事務局長 現職 平成27年度～
 第55回近畿理学療法学会 副大会長 平成27年度
 第25回兵庫県理学療法学会 大会長 平成25年度
 第47回日本理学療法学会 事務局長 平成24年度
 (一社)兵庫県理学療法士会 常務理事 平成25年～平成26年度
 (社)兵庫県理学療法士会 局長・理事(ブロック担当) 平成16年～平成24年度
 兵庫県理学療法士会 保健福祉部長 平成11年～平成15年度

立候補の趣旨

現在、理学療法士が抱えている課題は、医療制度改革や地域包括ケア体制の確立などの制度やシステマ的課題の他、理学療法士数の急増、就業需給バランスの変化に伴う就業条件の悪化、教育問題や社会人としての適性など数多くあり、これらの解決を図るためには、医療・福祉・介護・教育の各分野で明確なビジョン、企画力、実行力が求められています。学術的・技術的な基礎水準の向上に裏付けられた社会的な地位の向上と、自らの生活を確保していくという至上命題のために、一丸となって将来の展望を切り開いていかなければなりません。理学療法士を取り巻く環境は厳しさを増し、求められるものはさらに高くなってきております。

県士会においても上記の課題に対して、即応できる効率的、機能的な組織づくりと運営体制の構築が必要があり、対外的には、国民に対して自らの地位や有益性を強靱な意志と意見表明ができる職種・団体でなければなりません。

私は長年、地域の中で地域の住民や団体と密接に関係を培ってきた行政経験をいかし、今後は県士会内部から常勤役員として組織力強化を図り、上記課題解決に努め、地域包括ケアの推進や、理学療法士の職域の拡大と資質向上、地位向上に努めたいと考えております。

部員・役員として一貫して兵庫県士会の活動に携わってきた経験と県士会員との意思疎通・交流を通じて、皆様とともに理学療法士がさらなる高みを目指す活動をしていきたいと思っておりますので、よろしくご支援をお願いいたします。



氏名 間瀬 教史

年齢 51

勤務先名 甲南女子大学看護リハビリテーション学部

経歴

兵庫県理学療法士会役員
 平成7年～現在に至る 理事
 平成25年～現在に至る 副会長
 日本理学療法士協会役員
 平成27年～現在に至る 理事
 平成27年～現在に至る 学会運営審議会審議員
 平成28年～現在に至る 臨床実習教育の手引き作成特別委員会委員長
 平成17年～平成27年 代議員
 平成18年～平成25年 教育部部員
 平成25年～平成27年 教育制度委員会委員

立候補の趣旨

医療・介護制度を含めて理学療法士を取り巻く社会が大きく変化していく中、兵庫理学療法士会(以下県士会)には、教育・学術・公益・職能・政治活動をバランスよく、かつ有機的に働かせることが求められます。一部の活動が突出していてもどこかに歪みが生じます。私は、県士会では副会長を、日本理学療法士協会では理事として理学療法教育、学術活動を担当させていただきました。

中央である日本理学療法士協会の役割の多くが地方である県士会で行われるようになり、県士会の役割は大きく変わろうとしています。会員の研修や懇親をその活動の中心にしていた県士会は、職能・政治活動にまでその活動を広げることが求められています。これからの県士会は、それらの活動もできる戦える組織づくりが必要です。現在、兵庫理学療法士会は、事務局機能の強化、ブロック体制の改革を軸に、その戦える組織への変革を進めています。

これらのさらなる発展・実行を目指し、理事に立候補いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名 堤 万佐子

年齢 46

勤務先名 宝塚リハビリテーション病院

経歴

平成7年3月 藍野医療技術専門学校 理学療法科卒業
 平成7年4月 尚和会 宝塚第一病院 入職
 平成13年11月 尚和会 介護老人保健施設ケアヴィラ伊丹
 平成15年7月 尚和会 宝塚第一病院 復職
 平成20年4月 宝塚リハビリテーション病院 開設とともに入職
 宝塚リハビリテーション病院療法部 療法部長
 兵庫県理学療法士会阪神北ブロック ブロック長
 平成27年6月 兵庫県理学療法士会社会局理事

立候補の趣旨

皆様こんにちは、社会局を担当して2年が経ちます。私が担当しておりますのは職能部・渉外部・スポーツ活動支援部・健康増進部です。各部長の先生方に支えられながら私自身研鑽しています。今年度は士会創立50周年の節目の年です。これからブロック支部化の流れを受け柔軟に変化していくことが求められると思います。岩井会長をはじめ理事会と部長の先生の思いが化学反応をおこし、兵庫県理学療法士会会員に有益である結果を生み出せるように今後も努力してゆきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



氏名 沖山 努

年齢 57

勤務先名 神戸リハビリテーション病院

経歴

平成7年～現在 士会理事
 平成15年～平成27年 事務局長
 平成16年～現在 副会長
 平成9年～現在 協会代議員

立候補の趣旨

国が推奨する地域包括ケアシステムの構築に向けた、医療保険と介護保険の同時改定を来年に控え、理学療法士への期待は高くなっていると感じています。しかし一方で、我々に対する評価が、必ずしも高いものばかりかと言えば、決してそうではない状況もうかがえます。その一つが、理学療法技術についての問題です。以前に比べ、特に経験年数の少ない理学療法士の治療レベルが下がったのではないかと、との指摘を耳にすることがあります。理由として考えられるのは、回復期病棟を中心に、一度に大勢の理学療法士を採用した結果、十分な卒後教育システムが機能しにくくなっていることが挙げられます。これまで、治療技術に関する指導は、多くが施設ごとに行われていましたが、指導する側とされる側の人数差が大きくなってしまい、十分にフォローできない状況があるのではないかと推察します。その不足部分を補えるのは、近隣のブロックを中心とした士会ではないかと考えます。365日体制をとっている施設も多くなっているため、実技講習会等もこれまでのような土日開催のみでなく、平日開催も考える必要があるのではないのでしょうか。また、長く士会運営に携わらせていただいている中で、会員の士会離れが進むのではないかと危惧しています。多くの会員に魅力を感じていただき、組織率を高めていくためにも、卒後教育システムをより充実させ、理学療法士に対する期待に応えられる組織にしていきたいと考え、この度、理事に立候補いたしました。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



氏名 岩井 信彦

年齢 60

勤務先名 神戸学院大学総合リハビリテーション学部

経歴

1993年 西播ブロック長
 1997年 理事
 2004年 副会長
 日本PT協会代議員（現在に至る）
 2015年 会長（現在に至る）

立候補の趣旨

本年度、本会は設立50周年を迎えます。当初9名であった会員も半世紀を経て約4,500名となり全国屈指の大きな組織になりました。団塊の世代が後期高齢者となる2025年には約7,000名の組織になります。伝統ある本会は、今後もわれわれの職能を高め、県民にも支持される組織であり続けなければなりません。そのためには常に組織改革を進めていく必要があるでしょう。

一昨年会長（理事）に就任して以降、会員数の増大に対応できる組織づくり、地域包括ケアシステムに対応できる組織づくりを念頭におき土会運営を行ってきました。具体的にはブロック支部化に向けたワーキングや調整会議の開催、研修体制の検討、土会事務所の移転をはじめとした事務局機能強化です。

今後2年間、以下の4点を本会の重点課題と捉えることが重要と考えます。

- 1 ブロックの支部化推進
- 2 研修体制の見直し
- 3 地域包括システム構築への対応（推進リーダー、リハ3土会協議会等）
- 4 事務局機能の強化

私は、理事16年間、会長2年間の経験を活かし微力ではありますが、本会の発展に尽力する所存です。何卒よろしくごお願い致します。



氏名 中川 ふみよ

年齢 48

勤務先名 明和病院

経歴

平成13年～15年 阪神南（芦屋・西宮）ブロック長
 平成20年～現在 システム管理部部長
 平成23年度～平成24年度 兵庫県理学療法士会 局長
 平成25年度～平成28年度 兵庫県理学療法士会 理事

立候補の趣旨

医療や介護の現場は地域包括ケアシステムという大きな看板の下、病床機能編成や在宅医療への推進など急速な変化を迫られています。また、臨床の現場のみならず、教育、企業など様々な分野でも理学療法士として働く上で、その変化の影響は避けて通れません。理学療法士一人一人がそれらに個々に対応するのは非常に困難です。そのため、日本理学療法士協会、兵庫県理学療法士会は職能団体として重要です。会員の教育やサポート、関連各職種との連携、各団体との折衝、情報の取得・共有、社会貢献、広報活動などその活動は多岐にわたっています。

私はこれまで事務局を担当させていただきました。会員の方に安心して活動して頂くため、活動を充実させていくために事務機能を安定させることを大事と考えて職務に当たらせていただきました。

これからも県土会の発展のために、微力ではありますがお手伝いさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名 檀辻 雅広

年齢 54

勤務先名 協和マリナホスピタル

経歴

平成10年～平成15年 社団法人日本理学療法士協会 社会局 調査資料部 部員
 平成13年～平成16年 社団法人兵庫県理学療法士会 阪神南（西宮芦屋）ブロック員
 平成16年～平成21年 社団法人兵庫県理学療法士会 阪神南（西宮芦屋）ブロック長
 平成25年～ 一般社団法人兵庫県理学療法士会 理事（学術担当）
 平成25年～ 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員

平成15年 第16回兵庫県理学療法士学会 学会長
 平成24年 第47回日本理学療法学会 演題管理部長
 平成27年 第55回近畿理学療法学会 学術局長

立候補の趣旨

兵庫県理学療法士会は毎年約400名の新入会員を迎え、会員総数は4,500名を超える非常に大きな組織になっています。今後ますます増加するであろう理学療法士の社会的な立場を堅固なものとするためには、士会員諸氏の資質向上と職域拡大が必須です。その中で資質の向上は、リハビリテーション医学全般の幅広い教養と基礎知識と技術に裏付けされた質の高いものが求められています。

多くの士会員から要望のある研修会や講習会の開催は、学術的・技術的な全体水準の引き上げのためにもさらに積極的に押し進めなければなりません。私はこれまでに学術局担当理事として、卒前・卒後教育、研修・講習会事業、学術大会開催、学術誌発行などの活動に取り組んできました。しかし、新人教育プログラムや、認定理学療法士・専門理学療法士の取得など制度が複雑化していることに加え、県内各ブロックが運営する研修会・講習会と、学術局が運営する研修会・講習会との整合性の取りかた、中堅やベテラン会員の履修率が低下していることなど、まだまだ整理し解決しなければいけない問題が山積んでいます。

私はこれまでの経験を活かし、士会員諸氏の学術研鑽活動をよりスムーズに、わかりやすく且つ充実した内容にしていこうと努めたいと考えています。ご支援を賜りますようどうぞよろしくお願い致します。



氏名 岡 英世

年齢 54

勤務先名 順心リハビリテーション病院

経歴

兵庫県理学療法士会 保健福祉部部員 平成11年まで
 兵庫県理学療法士会 県学会運営部部長 平成28年まで
 兵庫県理学療法士会 理事
 日本理学療法士会 代議員

立候補の趣旨

現在、理事として総務担当のお仕事をさせて頂いております。この2年間会員のみなさまに役立つ県士会を目指し活動をして参りました。

会員に必要な情報をタイムリーにお届けすることが会員にとって重要要件と想い、前ホームページ部の和田智弘先生共に取り組んで参り、現部長の三本坪大先生の下この5月からホームページのリニューアルができる予定となりました。

これからも、会員のみなさまと県士会との距離を縮め、会員の方の役立つ県士会を目指す改革を行っていきたいと考え、今回理事に立候補させて頂くこととしました。微力ながらではありますが、精一杯業務に取り組む所存ですので、ご支援の程お願いいたします。



氏名 久保田 健二

年齢 52

勤務先名 公立神崎総合病院

経歴

平成25年～28年 社会局担当理事

立候補の趣旨

私はこれまで、研修部長や社会局理事として兵庫県理学療法士会の活動に関わってきました。この間、急速に進む高齢社会により理学療法士数が急激に増加し、それに伴い社会的な認知も高まっています。同時に社会は、幅広い知識・教養・技術のある理学療法士を求めています。私たち理学療法士はこれからの時代に期待される存在ではありますが、一方では非常に厳しい目で見られていることも忘れてはならないと思います。期待に応えるため、我々は専門職としての能力を高めると同時に、これからの社会を支えていく地域包括ケアシステム確立に理学療法士が積極的に関与していく体制を整備していかなければならないと考えています。理学療法を通じて地域社会に貢献する場を広げるためには、この新しい制度に理学療法士を確実に位置づけることが不可欠であります。

今後も引き続き、理事として活動させていただきたく、立候補いたしました。微力ではありますが、誠心誠意活動したいと考えています。皆様のご支援をよろしく願い致します。



氏名 小山 長

年齢 42

勤務先名 新須磨病院

経歴

平成15年 一般社団法人 兵庫県理学療法士会 卒前教育部 部員
 平成18年 一般社団法人 兵庫県理学療法士会 神戸(西)ブロック ブロック長
 平成19年 一般社団法人 兵庫県理学療法士会主催 第20回兵庫県理学療法士学会 準備委員長
 平成24年 公益社団法人 日本理学療法士協会主催 第47回日本理学療法学会 (兵庫)学術編集部 部長
 平成27年 公益社団法人 日本理学療法士協会近畿ブロック主催 第55回近畿理理学療法学会 法学会 広報・渉外局 局長
 平成27年 一般社団法人 兵庫県理学療法士会 理事
 平成28年 公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員
 平成28年 一般社団法人 兵庫県理学療法士会主催 第28回兵庫県理学療法士学会 大会長

立候補の趣旨

私は平成27年より理事として、ブロック活動、組織運営の調整を主な課題として取り組んでまいりました。

地域包括ケアにおける理学療法士の役割は大きく、地域からの要望に対する円滑な対応が求められます。また、診療報酬、介護報酬改定の情報共有をはじめ、災害対策や士会活動など、あらゆるブロック内活動の充実、連携強化を図る必要があります。

これからの会員増加、2025年問題を踏まえ、今後は各ブロックがあらゆる状況に対応できる組織力を高める必要があり、そのためには各部、地域との連携が重要な課題と考えております。これら組織力向上が会員の方々にとって円滑で充実した生涯学習に繋がると考えております。

私は兵庫県理学療法士会のブロック活動、地域活動、生涯学習の活性化、円滑化に関わり、会員の方々にとって充実した理学療法士業務の一助となることを目標に、理事に立候補致します。



氏名 西川 仁史

年齢 54

勤務先名 甲南女子大学看護リハビリ
テーション学部

経歴

平成9年度～平成15年度 (社団法人) 兵庫県理学療法士会 西播磨ブロック長
平成16年度～現在 (一般社団法人) 兵庫県理学療法士会 理事
平成21年度～平成24年度 第47回日本理学療法学会 運営局長
平成22年度～現在 (公益社団法人) 日本理学療法士協会 代議員

立候補の趣旨

現内閣の政策目標の一つに、2020年のGDPを600兆円に拡大すると掲げられているが、消費税を10%に引き上げる見通しも不明瞭な状況であり、20年来の停滞した経済成長の中で国民医療費の総額は年々増加を示し、42兆円を超えると見込まれています。そして、2018年度には診療報酬・介護報酬の同時改定を迎えることとなります。このような中で、地域包括ケアシステムの完成に向けて、われわれ理学療法士もさらなる社会的期待感に理学療法の専門職としての真価を示す必要があります。“地域の中で活躍する理学療法士”を根付かせていく必要があります。

兵庫県理学療法士会(以下、兵庫県士会)は毎年300名程度の新入会員を迎えています。本年度の会員数は遂に500名に手が届く勢いです。兵庫県士会の活動は効率の良い事務機能の強化、会員の質的向上を図る学術活動、県民への健康増進に寄与する社会貢献事業、そしてブロック活動が4つの柱です。これからの活動を一層推進するには、会員のマンパワーの活かし方が求められています。そこで、これまで培ってきたブロック制(現11ブロック)を礎に、さらなる組織の機動性と結束力を築き、自活性を高め自律できる支部への移行を進めています。この支部への移行が地域包括ケアシステム構築の機動力にもなると考えています。また、公的機関や他団体としっかり対話できる組織へと認知度を向上させる目的もあります。私は、本選挙を迎える任期中にはブロック局理事を務め、支部化移行を調整する担当者のひとりとして尽力して参りました。引き続き理事の大役を拝命いただければ、創立50周年を迎えた兵庫県士会のさらなる未来の実現に向けて、支部組織から新たにスタートできるよう貢献させていただきたい所存でございます。ご支援の程、よろしくお願いいたします。



氏名 山口 良太

年齢 37

勤務先名 (株)アールイーコンセプト

経歴

学歴
神戸大学医学部保健学科理学療法専攻 卒業
神戸大学大学院保健学研究科博士後期課程 修了

職歴
神戸大学医学部附属病院
神戸大学医学部保健学科 非常勤講師
株式会社アールイーコンセプト 代表取締役

社会活動
兵庫県理学療法士会 理学療法講習部 部員(2016年4月～)
同部長(2017年4月～)
灘区デイケア・デイサービス連絡会 世話人(2017年3月～)

立候補の趣旨

2017年は兵庫県理学療法士会設立50周年の記念すべき年です。この50年で我が国の理学療法士の役割は大きく変化しました。とりわけ地域包括ケアシステムにおける地域の専門職としての役割はますます拡大しており、年間12000人の理学療法士が輩出される現状は、その役割を果たすための追い風ととらえることができます。一方で、地域における活動を裏付けるための卒前・卒後教育システムは盤石とは言えません。昨今では2025年問題が各種メディアで大きく取り上げられますが、我々はその先からの10年20年を見据えたビジョンの構築と実行力が求められます。そのためには医療機関、介護施設、各種企業、県士会、養成校、研究機関などが連携して、卒前・卒後教育システムや業務連携システムを構築することが求められます。諸先輩方が50年間培ってこられた技術や経験、そして、変わるはずのない情熱を、この先の50年を担う理学療法士に繋げるべく、私は立候補いたしました。



氏名 鮫島 一雄

年齢 61

勤務先名 神戸総合医療専門学校

経歴

役員歴	兵庫県理学療法士会	選挙管理委員長
平成9年～平成15年	兵庫県理学療法士会	局長・理事
平成16年～平成27年	日本理学療法士協会	代議員
平成22年～現在に至る	兵庫県理学療法士会	監事
平成27年～現在に至る		

立候補の趣旨

日本理学療法士協会では新人教育プログラム、認定・専門理学療法士制度の改革から充実へ、さらに地域包括ケアシステムへの積極的な参画を進めております。兵庫県理学療法士会でもそれらの流れに対応した事業や研修システム、ブロックを中心とした活動推進のシステム化を進めております。

兵庫県理学療法士会並びに会員の社会的使命・責任は今後も益々重要になります。現在本会は、その使命・期待に答えるために、多くの重要課題に取り組んでおります。私は兵庫県理学療法士会局長・理事となつて11年、さらに平成22年から日本理学療法士協会代議員として、協会活動並びに土会活動に力を注いできました。監事を2年間務めさせていただきましたが、引き続き監事の立場から本会の活動および業務の執行を微力ですが援助・支えていくために、今回立候補いたしました。皆様がたのご支援をよろしくお願いいたします。



氏名 今在家 信司

年齢 60

勤務先名 神戸医療福祉専門学校三田校

経歴

1978年	理学療法士免許取得、兵庫県立のじぎく療育センター勤務
1980年	兵庫県理学療法士会 学術部・教育部・障害福祉部
1990年	兵庫県立病院セラピスト会会長
2006年	神戸医療福祉専門学校三田校 教務部長

立候補の趣旨

理学療法士の現状は、2025年問題を迎えるにあたって、介護保険や医療制度の見直し等、PTの周辺状況も大きく変わってまいります。また少子化に伴う理学療法士の質の問題等、取り組むべきものは山積みです。

現在私は、理学療法士養成校に勤めておりますが、臨床が求めている理学療法士と、学生の質が年々格差が大きくなってきております。単にスペシャリストだけの育成ではなく、ゼネシャリストの育成を常に頭に入れてないと、職種としての将来展望が危ういものになりかねません。

教育も、変わり行く世の中の流れを常に敏感に感じ取り、変わって行かねばなりません。また、その一方、「原点回帰」という、基本的な王道、本流を見つめ直すチャンスと捉え、変化していくもの、継承していくものを明確化していきたいと思っております。

理学療法士としては古株ですが、今までの経験を伝承していくものとして、この度立候補させていただきます。